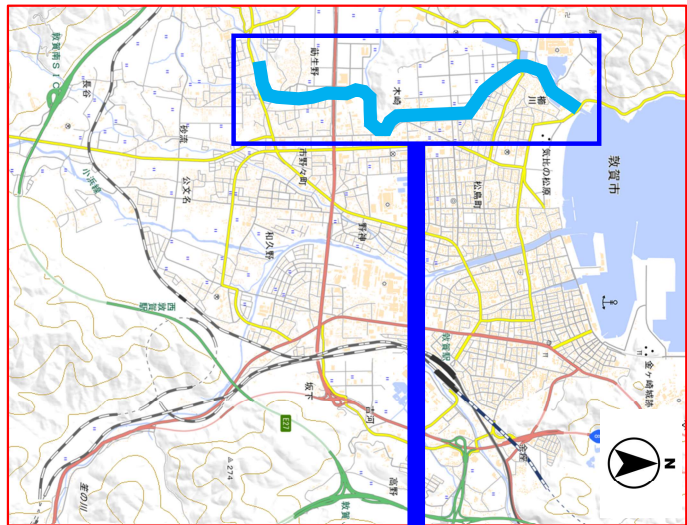


井の口川河川改修工事の進捗状況



河川改修工事計画の見直し



	当初計画	見直し
施工方法	花城橋を架け替えず、護岸補強後に河床掘削を実施（花城橋護岸：特殊工法）	花城橋を架替え 下部工施工後に河床掘削を実施
スケジュール	R6秋～ 護岸補強 R8秋～ 河床掘削	R6～ 橋梁架替え（調査・設計含む） R7秋～ 浚渫および河床掘削
花城橋架け替えの必要性・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・桁下の狭い空間において特殊工法により護岸補強を予定していたが、地質調査および実証実験の結果、日当たり施工量が当初の想定より小さくなり、工期・事業費が大きく膨らむことが判明 ・現橋は昭和63年建設で、塩害等により腐食が進行 ・架け替えに合わせ桁下高を嵩上げすることで、より大きなプレジャーボートが通航可能となり、新規施設・PBSに、敦賀港周辺の放置艇も含めた船舶を収容可 ⇒ 敦賀港周辺一帯の管理適正化 	
河床掘削	既設護岸に影響を与えない範囲で河床掘削（浚渫）を行い、河川流下能力・治水安全度を確保しつつ、不法係留対策の進捗を踏まえ、可能な限り早期に河床掘削を実施	